

令和3年度包括外部監査の結果に対する対応状況（令和6年9月末現在）

テーマ「 環境部の財務に関する事務の執行及び運営管理について 」

区分	番号	報告書頁	所管課	指摘内容（抜粋）	対応区分	措置内容
意見	12	P72	環境政策課	みやざきエコアクション認証制度事業 本事業の評価基準を認証事業者の累計からISO取得等以外の理由による辞退者数を除外した数値を用いるよう変更されたい。	対応予定	認証者の指標については、第五次総合計画の重要業績評価指標（KPI）となっているため、次期改定において本事業の趣旨を踏まえた適切な評価基準となるよう見直しを検討することとする。
意見	17	P78	環境業務課	一般廃棄物収集運搬事業 本事業の受注者に対して、ごみ収集の実績報告書作成および提出を求めているが、この書式・体裁が事業者によってまちまちである。 宮崎市の担当者が報告書のチェックを行う際の効率化を図り、見落とし等がないようにするという観点からは、宮崎市において受託業者に対して報告書の体裁を指定し、統一のもので作成および提出してもらう方が望ましいと考える。	対応済	令和3年6月30日から本市が導入している運行管理システムを活用し、令和4年4月以降、随時統一した実績報告様式に移行している。（4者移行済み。1者対応検討中）
意見	62	P45	環境施設課	浄化槽管理事業 浄化槽管理システム改修業務委託について、システム保守点検を行っているにもかかわらず、機能不足等により事務が煩雑となっている項目を改修したものであり、通常業務の中で事務作業の効率化と正確性が向上しているのであれば、システム改修が必要である理由として、システム改修によってどの程度の費用対効果が図られるのかを検討していただきたい。 今後、浄化槽管理システムの整備促進手法の検討、浄化槽の情報基盤強化に関するモデル事業としてシステム管理を強化されたい。	対応予定	浄化槽管理システム改修業務委託については、職員が手計算していたものを自動計算するような改修、入力した内容を修正、削除する機能の追加、一括調定に日割り計算使用者の反映など費用効果として測定しづらい改修が主であったが、事務処理誤りの防止、事務工数の削減から必要な改修であった。 本システムは宮崎市独自の仕様で他市町村とは異なるシステムを採用しており、システム会社と共同で開発した経緯があるため、整備手法や仕様について開示する予定は無いが、今後も法令に則った台帳整備を進め、システム管理を強化していきたい。

指摘事項		意見	
措置済 (R6.6公表分含む)	28件	対応済 (R6.6公表分含む)	56件
検討・改善中	0件	対応予定	2件
措置困難	3件	対応困難	10件
計	31件	計	68件